

1日も早い拉致被害者全員の救出に向けて!

政府主催 国際シンポジウム

グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携
「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」関連行事

日時

令和4年**12月10日**(土)
14:00~16:00(開場13:00)

場所

イイノホール

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F

配信

YouTube拉致問題対策本部
公式動画チャンネルで生配信

(<https://www.youtube.com/c/rachitaichannel>)

会場参加者募集

入場無料

事前申込制・先着順

申込締切日**12月6日(火)**

プログラム

第1部 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール表彰式

第2部 国際シンポジウム

主催 政府拉致問題対策本部、法務省

後援 外務省、文部科学省

詳しくは

<https://abductees-2022.jp/>

又は

政府拉致問題

検索

主催者より

北朝鮮による拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、日本政府の最重要課題です。政府は、全ての拉致被害者の一日も早い帰国を実現すべく、全力で取り組んでおり、また、コロナ禍の中にあっても、積極的に広報・啓発活動に取り組んでいます。北朝鮮をめぐる情勢が大きく動く中、拉致問題の解決のためには、米国を始めとする関係国と緊密に連携していくことが重要です。

こうした背景の下、拉致問題の実態と御家族の想いについて、日本のみならず、諸外国の被害者御家族の方々の「生の声」に耳を傾けるとともに、北朝鮮の人権問題等の専門家をお招きし、グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携のあり方について議論していただく機会を設けました。

今回のシンポジウムを通じて、皆様の声の方が更に大きくなることは、拉致問題の解決に向けた大きな力となります。今回のシンポジウムに、オンラインも含め、皆様の積極的な御参加をいただければ幸いです。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出演者の一部を事前収録とさせていただきます。

国際シンポジウム

テーマ グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携

プログラム(予定)

14:00 開会(開場は 13:00)

第1部 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール表彰式

第2部 国際シンポジウム

(1)主催者挨拶 **松野 博一** 内閣官房長官兼拉致問題担当大臣

(2)拉致事案等の被害者御家族からの「生の声」の訴え

〈登壇者〉 **横田 拓也** 氏 (北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表)

飯塚 耕一郎 氏 (北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長)

生島 馨子 氏 (特定失踪者家族会幹事)

ジェームズ・スネドン 氏 (デービッド・スネドン氏 兄)

バンジョン・パンチョイ 氏 (アノーチャ・パンチョイ氏 甥)

(3)パネル・ディスカッション

〈モデレーター〉 **西野 純也** 氏 (慶応義塾大学教授)

〈パネリスト〉 **エリサベス・サルモン** 氏 (国連北朝鮮人権状況特別報告者)

李信和(イ・シンファ) 氏 (韓国政府北朝鮮人権国際協力大使)

16:00 閉会

申込方法

ホームページからお申し込みください。

※申込受付は先着順とし、定員に達し次第締め切りますので、ご了承ください。

定員については、新型コロナウイルス感染症に関する今後の状況等により決定いたします。

※申込時に記載いただきました住所・氏名・連絡先等につきましては、本会場から新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、必要に応じて、保健所等の公的機関へ提供させていただきます。

※感染状況によっては会場参加は中止とし、YouTube生配信のみとさせていただきます場合があります。

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」政府主催国際シンポジウム事務局

ホームページ <https://abductees-2022.jp/>



お申し込み方法 ①御所属 ②御氏名(ふりがな) ③電話番号
④Eメールアドレス ⑤御住所を御明記の上、
ホームページからお申し込みください。

問い合わせ先 **03-3453-5593**(平日10時~18時受付)
info@abductees-2022.jp

(ホームページでのお申し込みが難しい方は、電話・Eメールでのお申し込みも可能です。)

入場される際には、マスクの御着用をお願いします。以下の事項に該当する場合は、入場をお断りさせていただきます。

●発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合 ●咳・咽頭痛などの症状がある場合

アクセス

会場:イノホール

東京都千代田内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F

